



Osaka
Healthcare
Pavilion

カラダは
ひとつ。
ミライは
むげん。

【報告事項 1】

大阪ヘルスケアパビリオンの総括 (速報版)

今後、アンケート結果を用いて詳細の分析等を進め、年度内に報告書として取りまとめたうえで公表します。

I 開館までの経緯

2019年12月10日

大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する有識者懇話会を設置

2022年3月24日

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画を策定

2022年7月13日

名称「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」を発表

2023年7月11日

大阪ヘルスケアパビリオンロゴマークを発表

2025年3月23日

大阪ヘルスケアパビリオン 開館式を開催

2025年4月13日

大阪・関西万博 開幕

2021年2月16日

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会を設立

2022年7月1日

一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオンを設立

2023年4月13日

大阪ヘルスケアパビリオン 建築工事が着工

2024年10月23日

引き渡しセレモニー・内覧会・点灯式を開催

2025年4月8日

団結式を開催

Ⅱ 出展・展示

- ◆『REBORN』をテーマに「いのち」と「健康」の観点から、ミライのヘルスケアや都市生活などを展示。
- ◆大阪府・大阪市のほか、経済界、企業、団体・大学、有識者など、多様な主体が一体となって大阪ヘルスケアパビリオンの出展を実現した。

参画状況

参画者数：経済3団体、協賛企業107社・グループ、協力機関19団体、アドバイザー等54名

出展

リボーン体験ルート 出展企業による**20の展示**、主催者による**2つの展示**を実施

人生ゲーム REBORN in 2050



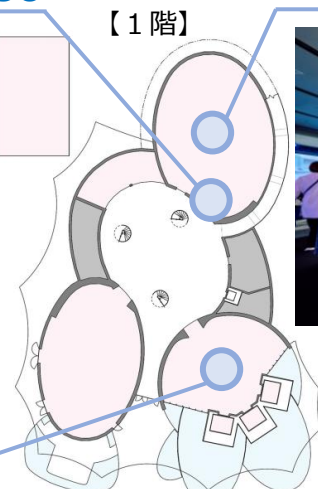
ミライの都市



ミライのヘルスケア2

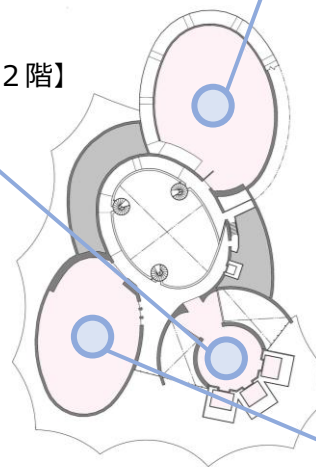


カラダ測定ポッド



【2階】

ミライのじぶん



ミライのヘルスケア1



Ⅱ 出展・展示

出展

アトリウム

出展企業による**2つの展示**、主催者による**1つの展示**

大阪府市による**1つの展示**を実施

リボーンチャレンジ

14の実施主体による**26の事業企画**を通じ、

432社の中小企業・スタートアップが出展

リボーンチャレンジ



iPS Cells for the Future



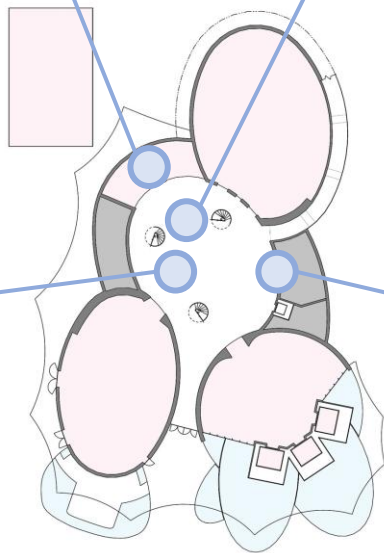
ミライ人間洗濯機



UDひろば



【1階】



Ⅱ 出展・展示

出展

XD HALL

ミライの食と文化

屋外展示

出展企業による**1つの展示**を実施

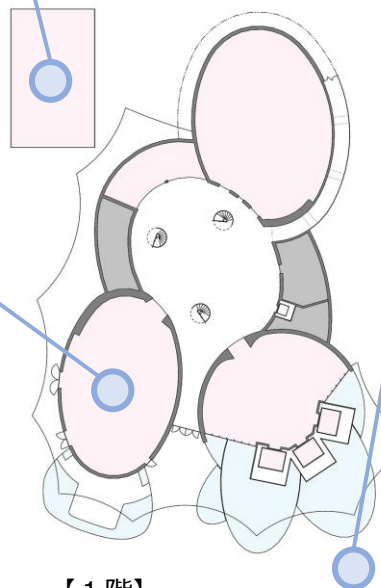
出展企業による**10の飲食・物販**を実施

主催者による**2つの展示**を実施

XD HALL



ミライの食と文化



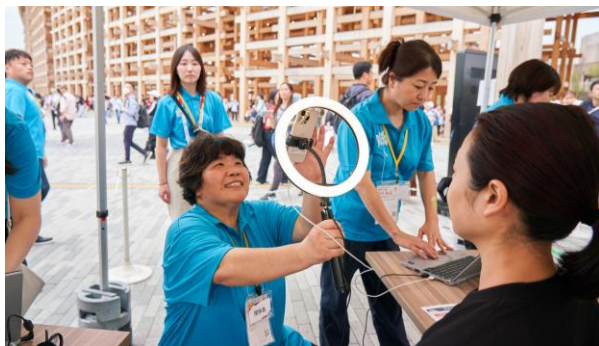
いのちの湧水 (いずみ)



Ⅲ 活動内容（催事）

◆ 会期を通じて、テーマ『REBORN』に沿った多様な催事を開催し、パビリオンの賑わいを演出するとともに、企業、団体・大学、自治体などによる多彩なプログラムを通じて、大阪の活力や魅力、文化を発信した。

リボーンステージ **181件** 協賛企業・協力機関等の主催催事82件、自治体の主催催事62件、主催者催事37件
デモキッチン **182件** 協賛企業・協力機関等の主催催事68件、主催者催事114件



10/3 ROHTO Healthcare DAY
～アイチェッカー体験含むヘルスケア啓発～



9/28 次世代の子供達を育成するためのスポーツ情報処理！～最先端技術で未来をつくる～



7/20～ REBORN夜市イベント あなたのREBORN（リボーン）、おしえてください！



9/16 EXPO アテンド×キャラクターワールドフェスティバル



6/20 大阪市とグレーター・マンチェスター合同行政機構 友好協力関係構築を祝うイベント



6/30 Osaka FOOD-DESIGN COOKING

Ⅲ 活動内容（バーチャル）

- ◆ バーチャル大阪ヘルスケアパビリオンを出展し、世界中からパビリオンへのアクセスを実現。延べ1,050万件のアクセスを達成し、時間と空間の制約をこえて、多くの方に大阪の魅力を発信した。

バーチャル大阪ヘルスケアパビリオン

- 出展企業による**2つの展示**、中小企業・スタートアップによる**54の展示**、主催者による**1つの展示**
大阪府市（大阪ウィーク）による**1つの展示**を実施
- リアル・バーチャル連動したイベント等を**4件**開催



中小企業・スタートアップによる展示



リアル・バーチャル連動したイベント

Ⅲ 活動内容（賓客接遇）

- ◆ 国内外の賓客等をパビリオンにお招きし、大阪が有する知恵と技術にみずから触れていただくことで、大阪が持つポテンシャルを感じていただくとともに、世界に貢献する大阪の姿を発信した。

賓客接遇実績の代表例

皇室

ご来館日	賓客名
4月11日	天皇皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下
7月7日	高円宮久子妃殿下

賓客

ご来館日	賓客名
4月12日	石破茂内閣総理大臣(当時)
4月22日	オランダ王国首相
5月14日	スウェーデン王国国王陛下
6月9日	ベルギー王国王女殿下、同王子殿下
6月30日	レソト王国国王陛下



天皇皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご来館



ベルギー王国王女殿下、同王子殿下ご来館

Ⅲ 活動内容（広報）

◆ 様々なメディア媒体やSNSを通して、大阪ヘルスケアパビリオンの魅力を発信し、機運を醸成した。
SNSでは、開館状況やイベント情報などをプッシュ型で発信し、来館者ダイレクトに情報をお届けした。

広報

●取材件数

テレビ	191件
新聞/紙媒体	1,912件
WEB	22,840件

※2025年10月15日時点

●SNS発信件数

X（旧Twitter）	390件
【フォロワー：約13,000】	
Instagram	294件
【フォロワー：約5,900】	

※2025年10月24日時点



取材風景①



取材風景②

IV 取組実績 来館者数①

◆ 来館者数は、想定人数(280万人)を大幅に上回り、約553万人の方々に来館いただいた。

総来館者数 **5,530,069人**

XD HALL(予約制)
108,753人

リボーン体験ルート(予約制)
674,040人

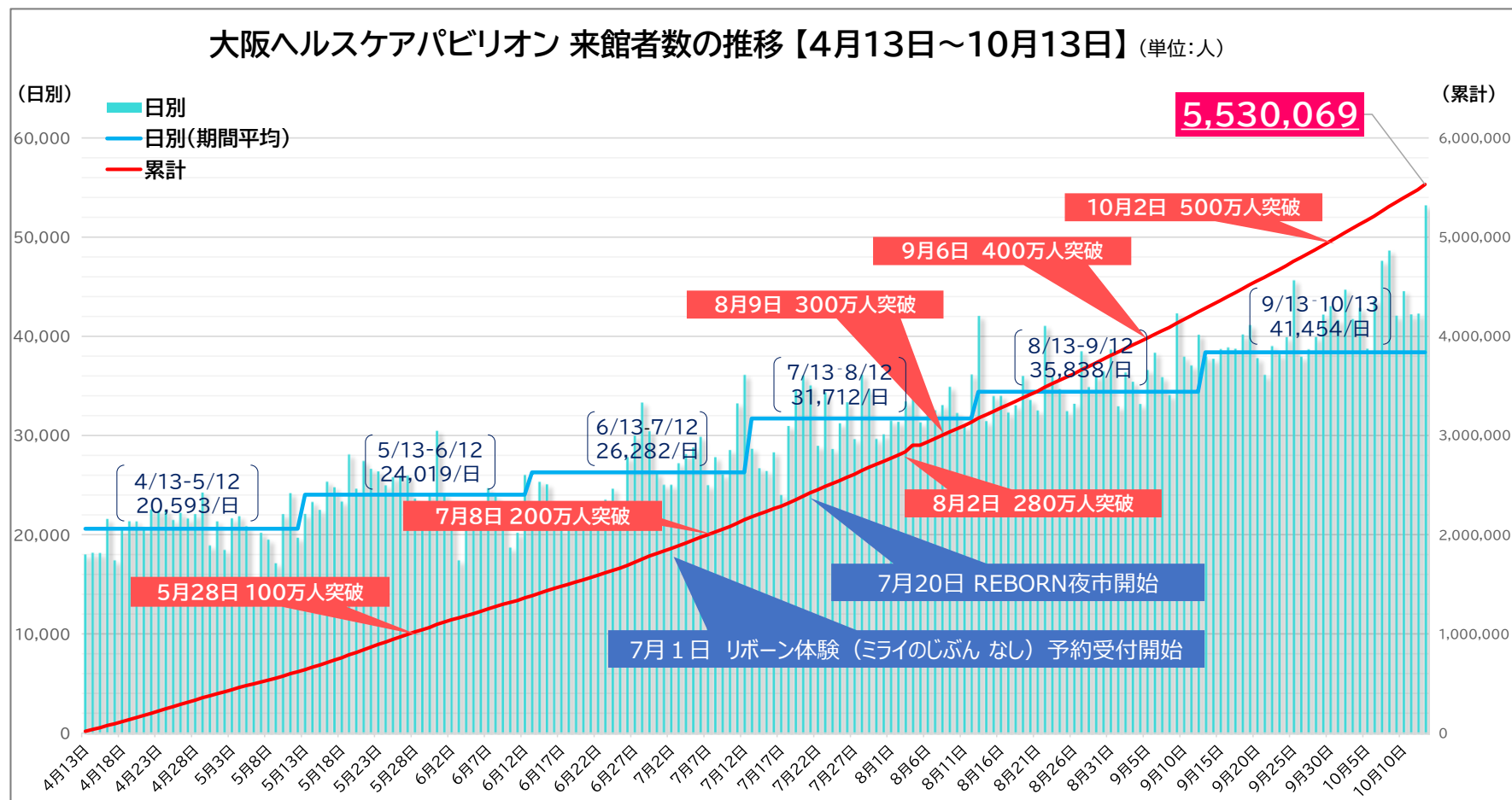
1F
アトリウムなど(予約不要エリア)
4,412,461人

リボーンステージ観覧者
334,815人



IV 取組実績 来館者数②

- ◆ 多数のメディアや来館者のSNS投稿を通じたパビリオンの魅力の広がりや、REBORN夜市や新たな予約枠の導入などの来館促進の取組により、1日あたりの来館者数は、会期が進むにつれて増加し、開幕当初（4月13日～5月12日）と比較し、会期中盤（7月13日～8月12日）には約1.5倍、会期終盤（9月13日～10月13日）には約2倍に増加した。



V 来館者からの評価

◆ 大阪ヘルスケアパビリオンの出展を通じてもたらされた成果を把握するため、来館者アンケートを実施

来館者を対象にしたアンケートの概要

■ アンケート概要

1. 実施期間 令和7年8月27日 ~ 令和7年10月13日 (webアンケートフォームにより実施)
2. 対象者数 ヘルスケアパビリオン公式アプリ利用者から無作為に抽出した21,304人
3. 回答者数 3,117人(回答率:14.6%)

■ 回答者の属性

図1：年代構成

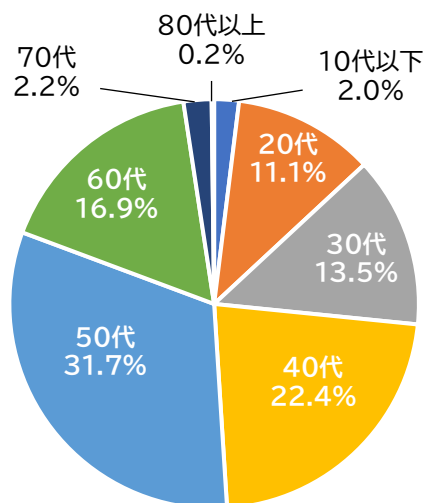
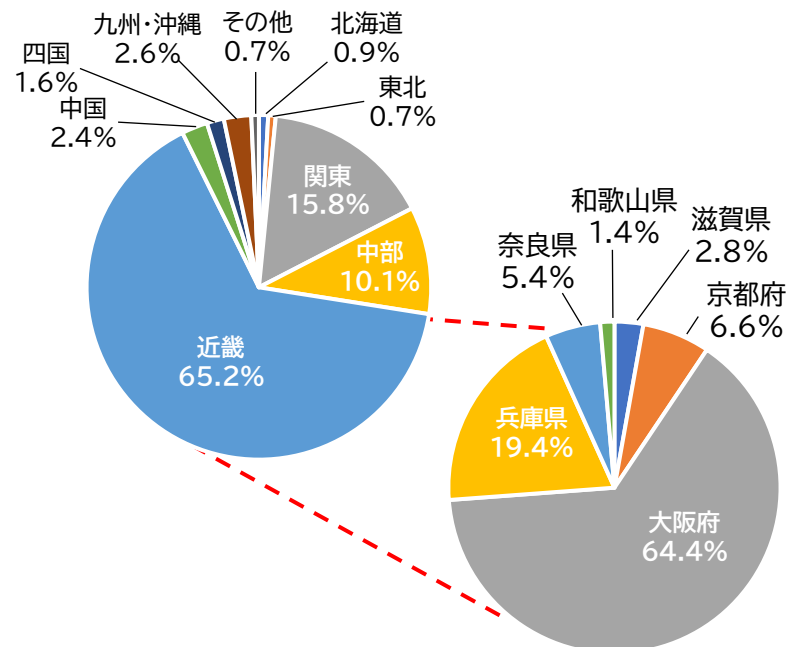


図2：居住地(地域、近畿地方のみ各府県)構成

※「その他」には外国籍の方及び海外居住の日本国籍の方が含まれている。

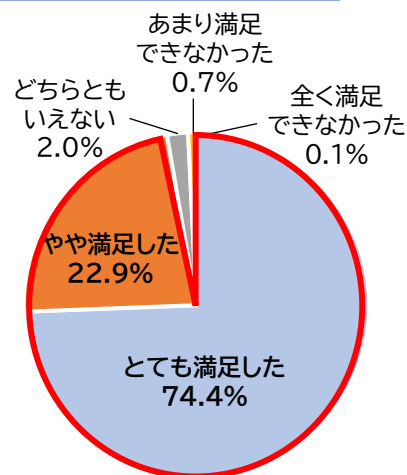


※アンケート結果の割合について、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

V 来館者からの評価① 満足度

- ◆ 来館者への満足度調査において、回答者の97.3%が「とても満足した」、「やや満足した」と回答。
- ◆ 年代別において、「とても満足した」、「やや満足した」と回答した割合が高かった。

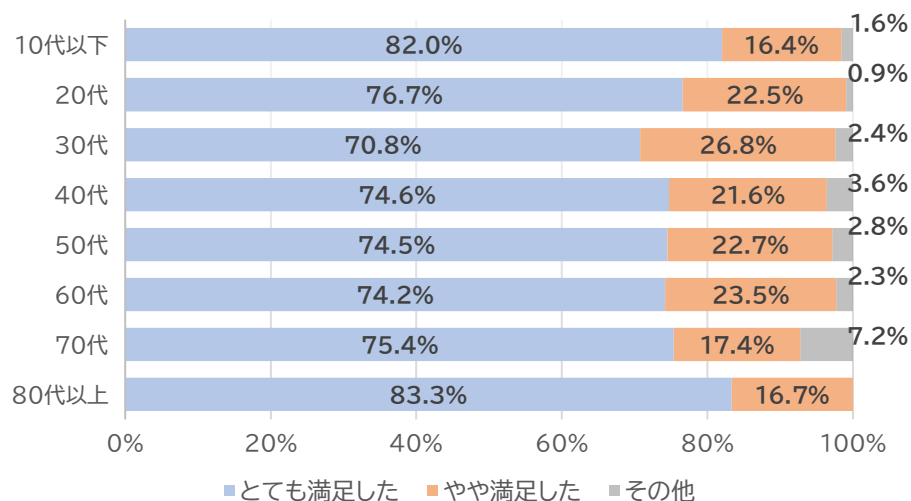
来館者の満足度（全体）



97.3%が「満足した」と回答

来館者の満足度（年代別）

※回答者数:3,117人



※その他は「どちらともいえない」、「あまり満足できなかった」、「全く満足できなかった」の合計を記載。

来館者からのコメント

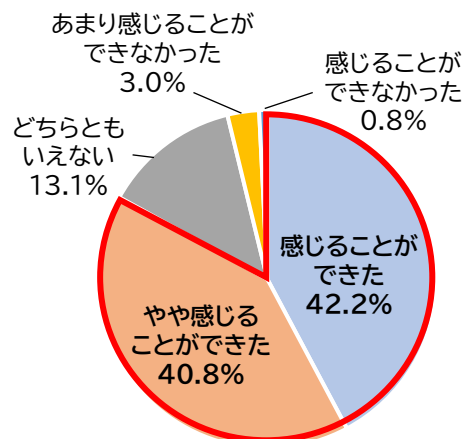
- ・ 近未来な体験や技術の発展、実際に体験できるパビリオンとして、とても楽しかったので、満足できた。
- ・ とても満足のいくパビリオンでした。人生ゲームやモンスターハンターもそれぞれ楽しませていただきました。
- ・ 関西の企業ブースが様々な未来の展示をしているのを見て、体験したことで、未来の大阪がより楽しみになった。
- ・ iPS細胞にはものすごく期待しており、心筋シートは凄く満足しました。
- ・ 人間洗濯機を体験できたことが非常に良い思い出となった。またいろいろな食品なども販売されていて飽きることなく楽しめた。
- ・ トイレ設備では車椅子が入りやすく、個室に介護スペースが設けられている点に驚き、大変素晴らしいと感動しました。

IV 来館者からの評価② パビリオンのテーマ・メッセージの浸透度

◆ パビリオンのテーマである「REBORN」を感じることができたという回答は約8割を占め、特に20代以下の若い世代で「感じることができた」という回答の比率が高かった。

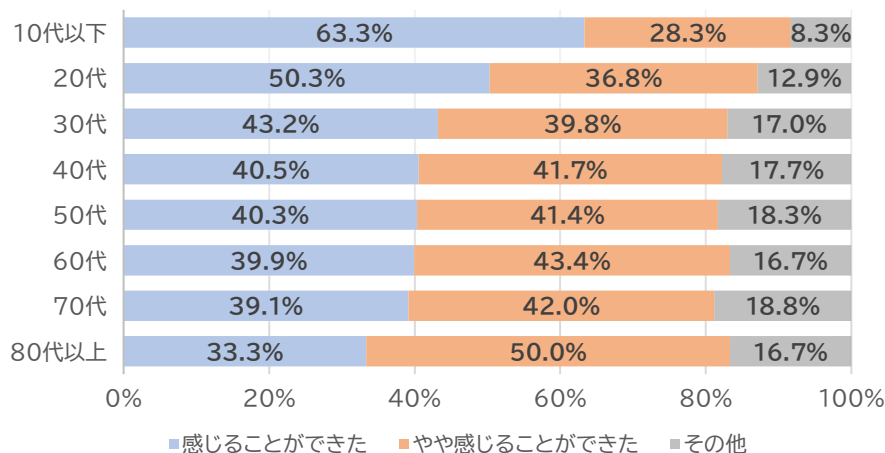
※回答者数: 3,080人(アンケート対象者のうちリボン体験ルートを体験された方に対してのみ質問)

テーマ等の浸透度 (全体)



83%が「感じることができた」

テーマ等の浸透度 (年代別)



※その他は「どちらともいえない」、「あまり感じることができなかった」、「感じることができなかった」の合計を記載。

来館者からのコメント

- ・ 新しい自分、未来の自分というものを考えさせられ、将来像を描く一歩となった。これでまた人生が豊かになった。
- ・ 自分の将来について見つめれることと、今を大切に健康を意識して、より良い未来を生きるために日常の習慣を変えて行こうと思える体験が出来たことに感謝です。
- ・ 25年後の自分の姿には少しショックを受けたが、かえって若々しくいるには？と考えることができるようになったと思います。
- ・ 25年後の自分が元気に踊るのを見て、こうなりたい、未来も健康で生き生きと活躍したいと強く思いました。
- ・ 自分の健康状態を瞬時に判断できて生活習慣を見直すきっかけになった。

V 出展企業、リボーンチャレンジ実施主体からの評価

◆ 出展企業の多くが、商品や技術の世界へのPRに繋がったこと、多様な参加企業・団体とのつながりが生まれ、新たな事業展開やイノベーションの創出に繋がる機会を得るチャンスにつながったと回答があった。

■ アンケート概要 ※令和7年10月30日時点

1. 実施期間 令和7年9月22日 ~ 令和7年10月17日（webアンケートフォームにより実施）
2. 対象企業等 出展企業：29社、リボーンチャレンジ実施主体：14社・団体
3. 回答数 出展企業：21社、リボーンチャレンジ実施主体：14社・団体

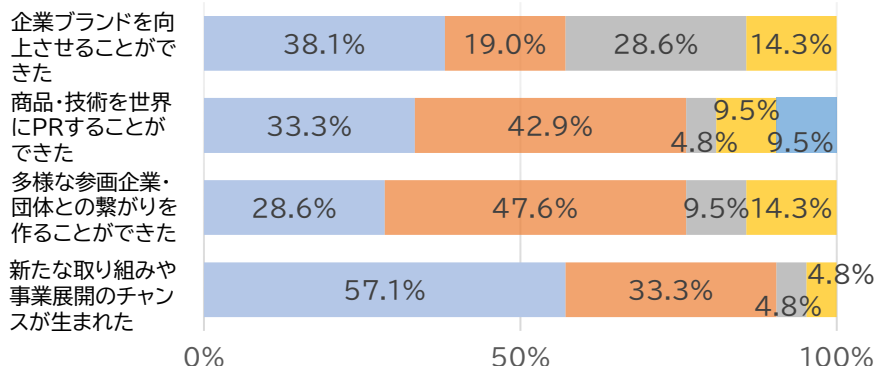
出展企業

※回答数：21社

■ 出展したことによる満足度

	回答数
満足	14
やや満足	4
どちらともいえない	2
やや不満	1
合計	21

■ 出展を通じての効果



リボーンチャレンジ実施主体

※回答数：14社・団体

■ リボーンチャレンジ事業を実施した満足度

	回答数
満足	11
やや満足	3
合計	14

■ 「満足」又は「やや満足」と回答した理由

※複数回答可

	回答数
大阪の中小企業・スタートアップをはじめとする大阪の魅力発信に貢献することができたため	12
実施主体として、多様な参画企業・団体との繋がりを作ることができたため	11
実施主体として、企業のブランドを向上させることができたため	9
実施主体として、新たな取り組みや事業展開のチャンスが生まれたため	9



Osaka
Healthcare
Pavilion

カラダは
ひとつ。
ひとつ。
ミライは
むげん。

【報告事項 2】

大阪ヘルスケアパビリオンの今後の取組

I 解体撤去の進捗状況

- ◆ 展示撤去工事に着手し、11月7日完了。
- ◆ 11月1日から、本館棟(レガシーとして残置する部分を除く)の撤去工事に着手し、3月31日に完了予定。

解体スケジュール

※現時点の予定であり、今後変更となる可能性があります。



外観(11月6日撮影)



アトリウム(11月6日撮影)

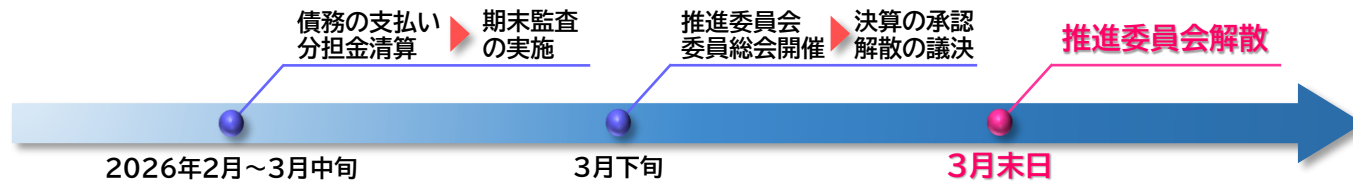


ミライのヘルスケア(11月6日撮影)

Ⅱ 組織解散に向けた今後のスケジュール

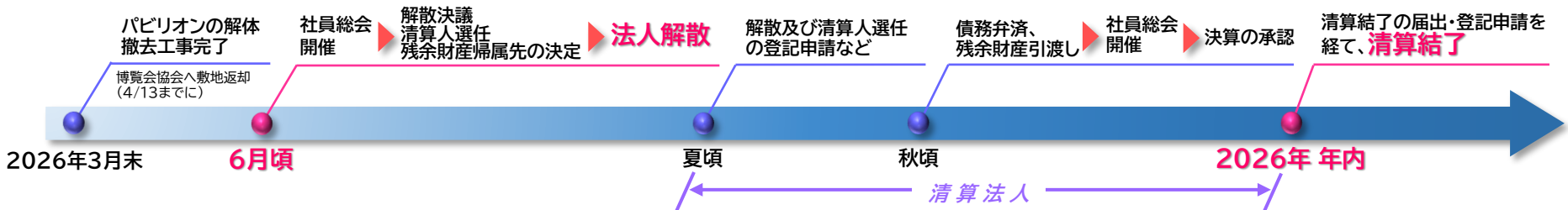
大阪パビリオン推進委員会

- ◆ 2025年大阪・関西万博に、地元大阪としてパビリオンを出展することにより、世界に向けた大阪のアピール並びに大阪の成長及び発展に寄与することを目的に、令和3年2月16日に2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会を設立
- ◆ 事業が終了し、収入・支出が確定する時期等を勘案し、委員総会での議決を経て、2026年3月末日解散予定



(公社) 大阪パビリオン

- ◆ 地元パビリオンの建設・展示・運営・資金管理等の業務を行うことを目的に、令和4年7月1日に一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオンを設立(令和5年10月16日、公益社団法人へ移行)
- ◆ 解体撤去工事完了後、最短で解散事務を遂行した場合、社員総会での決議を経て、2026年6月頃解散予定



※大阪パビリオン推進委員会、(公社)大阪パビリオンとも、解散スケジュールは現時点での予定であり、今後変更となる可能性があります。

Ⅲ 事業規模（見込み）

- ◆ 事業規模については、2023年2月に開催した推進委員会総会において、基本計画などに基づく見込額として、約220億円～250億円を事業規模として公表。現時点において、これまでの執行額と、現在行っている建物の撤去解体などの執行予定額を合わせた額、**約252億円を最終的な事業規模として見込む。**
- ◆ なお、事業規模の過半(約137億円)を、企業・団体の皆様からいただいた協賛金・寄附金により対応。

事業規模（見込）

区 分	2025年11月時点	備考
建築関連	約105	建物の解体撤去など、今後、支出する予定額を含む。
展示関連	約93	
運営関連	約54	
合 計	約252	うち協賛金・寄附金は約137億円。

（単位:億円）

【参考】 2023年2月時点
約110
約80～100
約30～40
約220～250

【参考】財務基本方針（出展基本計画より）

財務基本方針は、公費負担、企業・団体・個人からの協賛・寄付を募り、公民一体となった大阪パビリオン出展を実現することにあります。大阪パビリオンに必要な資金は、大きく分類すると建築関連費用、運営関連費用、展示関連費用となります。公費負担、協賛、寄付のそれぞれが充当されるべき費用を整理し財務計画を立案します。

協賛に関しては、一定の特典を提供し獲得を加速させることを企画します。また、展示に関連した物販・飲食、催事の出展料などの収入を見込みます。公費負担については、過去の万博における自治体パビリオンでの負担額を参考に、適切なバランスをもとに検討していきます。
（公費負担額は民間負担額を限度とします。）

IV レガシー（リユース）

◆大阪ヘルスヘアパビリオンでは、再生可能な資材の積極的な活用やリースによる物品等の調達などを通じ、リユース・リサイクルに取り組んできたが、閉幕後においても、SDGs達成への貢献や万博のレガシー継承の観点から、展示物や家具などの物品等について、リユース等の対応を進めているところ。

iPS Cells for the Future（再生医療展示）



引き続き、再生医療技術の先進性等を発信していくため、展示物の一部をNakanoshima Qross(未来医療国際拠点)へ移設（12月末頃を予定）

建築物木材等



大阪府(環境農林水産部)に譲渡し、コースターなどのグッズに加工して「おおさかもん祭り」等の木材関連イベントで活用

いのちの湧水（アクアポニックス）



引き続き、SDGs達成への貢献をめざす取り組みを行うため、教育・研究施設への移設にむけて調整

VIPルームの応接セット等

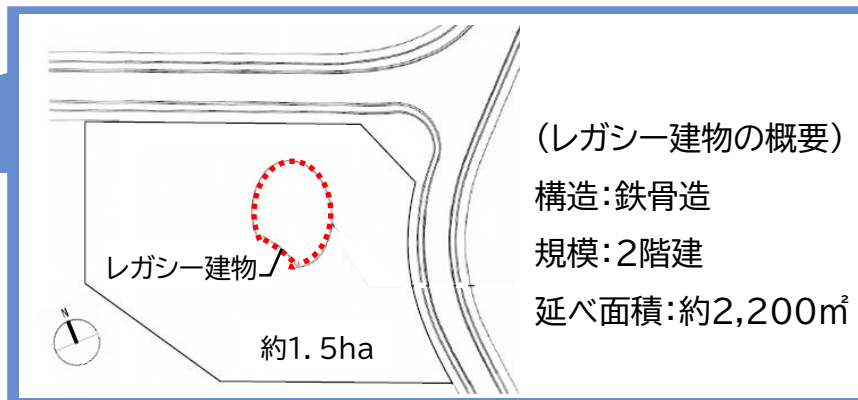


利活用が見込まれる物品等を「ミャク市！」に出品し、譲渡先を公募(実施中)

IV レガシー（ハード）

夢洲第2期区域まちづくり方針

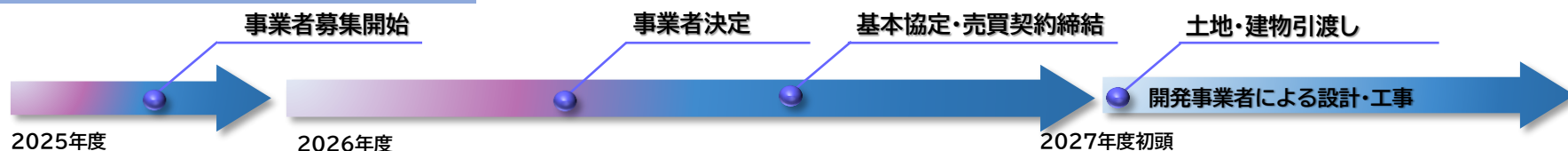
2025年10月に策定された「夢洲第2期区域マスタープランVer.2.0」において、大阪ヘルスケアパビリオンの取組みを継承するエリアとして「大阪ヘルスケアパビリオン跡地活用ゾーン」が位置づけられている。



利活用方針の概要

- 建物の一部を残置または敷地内で移築することを前提に、民間事業者売却のうえ、利活用を図る
- レガシー建物において、「先端医療」、「国際医療」、「ライフサイエンス」に係る事業を実施するとともに、これらに係る情報発信を行う
- にぎわい創出の観点から、ホテル、オフィスなどの施設を隣接して設け、レガシー施設と連携させ一体的に運営することを基本とする
- レガシー建物を法定耐用年数を踏まえ2062年9月まで利活用することし、レガシー事業は契約から10年間は実施する

今後の予定



IV レガシー（ソフト）

ミライのヘルスケア活動サポート事業

- ・リボーン体験により健康意識の高まった来館者の健康増進活動を支援するため、閉幕後も「カラダ測定サービス」として、大阪駅をはじめとしたJR西日本の4つの駅に設置している7台の「カラダ測定ポッド」を活用し、民間事業者（PHRコネクト共同企業体）による健康データの計測サービスを11月27日より開始。
- ・このサービス提供に先立ち、計測したデータの管理等ができる新たなアプリを万博閉幕後の10月14日よりリリース。
- ・今後、健康データの測定結果をもとにした健康アドバイス（レコメンド）の提供などを行うヘルスケアサロンの開設といった、さらなるサービス展開も検討中。



健康データの利活用

- ・リボーン体験で取得した健康データについて、新たな商品・サービス開発や研究開発につなげていくため、協賛企業や大学などの研究機関等に対してデータを提供。（提供に際しては、未成年のデータや個人が特定されるような情報を削除や加工。）
- ・今後、来年1月からのデータ提供に向けて、ヘルスケアパビリオンの出展目的に合致した内容となっているかなどといった観点で、外部有識者等による利活用目的やデータ管理体制の審査を行い、提供先を決定。（利用申請の受付は10月末で終了。）

2025年			2026年		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用申請の受付	審査		データ提供 データに関する問い合わせ受付		PV保有データ 削除